

花ちゃん・オー君・モンタ博士・フツ博士のわくわくドキドキでててて

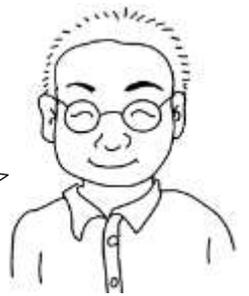
国立市立国立第七小学校

平成29年4月6日 NO.1 (401)



みなさんこんにちは。私はモンタ博士です。植物やこん虫が大好きで、このごろは、国立市の歴史や文化も研究中です。また、つい最近は、軟体動物の貝がらにも興味・関心をもち始め、あちこちの海もてくてくして楽しんでいます。今年も国立第七小学校のみなさんと、「てくてく」と歩き、「わくわくドキドキ」したいと思います。みなさん、よろしく！

モンタ博士や七小のみなさんと、国立をてくてくするのは2年目になります。子供のころから魚や昆虫、小動物などを観察・採集・飼育するのが好きでした。珍しい体験としてはラクダの解剖を手伝ったことがあります。(背中のおぶは本当に脂肪でした。)最近ではミジンコを窓辺で飼って絵を描いたり、きれいな流れに住むちっちゃい貝「マメシジミ」を調べたりしています。よろしくね！



私はいつも笑顔の花ちゃんです。どうして花ちゃんかという、名前が花子だからなの。私は、花を見ることや植物を観察するのが大好きで、バードウォッチングにも最近ハマっています。また、昔のことも知りたいと思っています。みなさんでてくてくしながら、ステキな国立を発見しましょう。どうかよろしく！



ぼくはいつも明るく元気なオー君です。本当の名前は「おさむ」ですが、みんなはオー君ってよんでくれるんだ。おさむっていう名前は、おうちの人が「鉄腕アトム」の作者の手塚治虫の大ファンで、それで、「おさむ」って名前になったそうです。ぼくは、虫や生き物や星が大好き。みんな楽しくてくてくしよう。よろしく！



モンタ博士「国立第七小学校のよい子のみなさん。こんにちは。」

フッタ博士「いよいよ平成29年度^{しんがっき}新学期。春^{はる}のスタートですね。」

オー君 「ぼくたちは、^{しんきゅう}進級しました。」

花ちゃん 「わたしたち、お兄さん・お姉さんになったんですね。うれしいわ。」

モンタ博士「1つ^{がくねん}学年が^あ上がったから、またみんなでいろいろチャレンジしていこう。」

フッタ博士「またあちこちと『てくてく』しながら、『わくわくドキドキ』していこう。」

オー君 「国立第七小学校に、かわいい1年生が51名も入学してくれました。」

花ちゃん 「みんなピカピカで笑顔いっぱいかわいいですね。」

モンタ博士「1年生^{ねんせい}のみなさん、保護者^{ほごしや}の皆様^{みなさま}、ご入学^{にゅうがく}おめでとうございます。」

フッタ博士「今日^{きょう}から国立第七小学校^{くにたちだいななしょうがっこう}の仲間^{なかま}だね。みんなでたくさん^{あそ}遊んであげよう。」

花ちゃん 「国立第七小学校^{くにたちだいななしょうがっこう}のことを^{おし}いっぱい教えてあげましょう。」

オー君 「ぼくたちの学校は、『仲良し^{なかよ}の学校^{がっこう}』で、『明日^{あした}が^{たの}しみな学校^{がっこう}』なんですね。」

モンタ博士「そうだね。そのとおりだね。」

フッタ博士「みんなで、もっともっと『仲良し^{なかよ}で明日^{あした}が^{たの}しみな学校^{がっこう}』にしていこう。」

花ちゃん 「ところで、モンタ博士、新学期の始めのお話をお願いします。」

モンタ博士「そうだね。新学期^{しんがっき}の始め^{はじ}だからこそ、『心^{こころ}新たに^{あら}チャレンジし、チェンジするチャンス!』ということだね。」

オー君 「心^{こころ}新たに^{あら}ということ、新年度^{しんねんど}だからですね。チャレンジするということは、いろいろなこと^{ちょうせん}挑戦^{せん}するということですね。」

フッタ博士「そのとおりだね。いままで^{にがて}苦手^{にがて}だったことやできなかったことにも、みんなでチャレンジ・挑戦^{ちょうせん}しようということなんだね。」

花ちゃん 「チェンジするチャンスということは？」

モンタ博士「チェンジ、つまり大きく^{きかい}変えられる^{きかい}ということで、その機会^{きかい}・チャンスである^{ある}とういことだよ。」

フッタ博士「今^{いま}こそ、新学期^{しんがっき}こそ、自分^{じぶん}を大きく^{おお}変える^かチャンスなんだね。」

花ちゃん 「新学期^{しんがっき}、何^{なん}だか^{なん}とっても^{たの}楽し^{たの}みに^くなってきたね。オー君^{くん}！」

オー君 「そうだね。みんなで^{あか}明るく^{げんき}元気に^{けんこう}いつも健康^{けんこう}で、何^{なに}事^{ごと}にも^なチャレンジしよう。」